

令和5年度 教科シラバス

教科	国語	科目	論理国語
単位数	2	レポート	6
教科書	新編論理国語（大修館書店）	副教材	新編論理国語学習ノート、進研WINSTEP 国語 1

学習目標

主体的・対話的で深い学びを通して実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的、批判的、創造的に考える力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高める。
言葉がもつ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身につけ、読書に親しむ態度を養い、他社や社会に対する関心を養う。
現代社会における多様な問題・題材を提示し興味関心を喚起する。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
(1)論理と出会う ・「論理的な人」とはどういう人か (レポート①)	(4)主張をつかむ ・文化としての社会 ・人工の自然－科学技術時代の今を生きるために (レポート④)
(2)具体と抽象 ・記号的メディアと物理的メディア (レポート②)	(5)論理的に書く ・小論文
(3)対比をとらえる ・米の種類と食文化 ・対話の精神 ・デジタル地図から見える世界 (レポート③)	(6)統計資料を活用する ・量の時代から質の時代へ ・若者の「海外旅行離れ」は本当か？ (レポート⑤)
	(7)比べて読む ・紙の本はなくなる ・情報化と紙の本のゆくえ (レポート⑥)
	(8)レポートを書く ・レポート作成

学習方法

キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
副教材を活用して問題演習を行いながら内容の理解を深めていく。学習前後は教科書本文をよく読んで内容の確認をする。類似的文章を扱うこともあるので比較しながら読んでいく。論理的文章を扱うことが多くなるので一文一文丁寧に読み進めていく。	副教材を活用して問題演習を行いながら内容の理解を深めていく。学習前後は教科書本文をよく読んで内容の確認をする。類似的文章を扱うこともあるので比較しながら読んでいく。論理的文章を扱うことが多くなるので一文一文丁寧に読み進めていく。

評価方法

キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
・授業態度（出席率等も含む）・提出物 ・レポート評価 ・定期考査（4回）	・授業態度（出席率等も含む）・提出物 ・レポート評価 ・定期考査（2回）

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、その特質を理解し、適切に使うことができ、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で、論理的に考える力や深く共感する力、伝え合う力を高め、自身の思いや考えを広げたり、深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ事故を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

令和5年度 教科シラバス

教科	国語	科目	国語表現
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	国語表現（大修館書店）	副教材	国語表現 基礎練習ノート 2023 小論文頻出テーマ解説集現代を知る plus 2023 小論文頻出テーマチェック＆ワーク

学習目標

<p>国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。</p>

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<p>伝える、伝え合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介ゲーム ・言葉のストレッチ体操 <p>言葉と出会う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉と表記 ※国語基礎力強化ワーク <p>仮名遣いのきまり／送り仮名の付け方（レポート①）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整った文を書く ※国語基礎力強化ワーク <p>気をつけたい同音異義語／異字同訓の使い分け／間違えやすい漢字（レポート②）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に応じた言葉遣い ※国語基礎力強化ワーク <p>敬語の分類と使い分け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい文を書く ・文のつなぎ方（レポート③） <p>前期考査範囲</p>	<p>伝える、伝え合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵や写真を見て書く ・マイニュース記事を書こう ※国語基礎力強化ワーク <p>よく使われる四字熟語／覚えておきたい慣用句（レポート④）</p> <p>小論文・レポート入門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文とは何か ・反論を想定して書く（レポート⑤） <p>自己PRと面接</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を見つめて ・効果的な自己PR ・将来の自分を考えよう（レポート⑥） <p>後期考査範囲</p>

学習方法

キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に参加し、さまざまな活動を通して内容の理解を深める。 ・レポート・副教材を活用して学習のまとめを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を事前に読み、授業に参加する。授業内でのさまざまな活動を通して内容の理解を深める。 ・レポート・副教材を活用して学習のまとめを行う。

評価方法

キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察・授業態度（出席率等も含む） ・発問評価 ・レポート評価 ・定期考査（4回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察・授業態度（出席率等も含む） ・レポート評価 ・定期考査（4回）

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
<p>実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。</p>	<p>論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p>	<p>言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

キャリアコース

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
必履修	2	6		4
教科書		副教材等		
新選 歴史総合(東京書籍)				
学 習 目 標				
<p>○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>				
学 習 内 容				
<p>【前期】</p> <p>○教科書は、P7～141までを学習。</p> <p>○学習の中心とレポートの範囲は以下の通り。</p> <p>1章 歴史の扉</p> <p>【レポート①】</p> <p>1. 歴史と私たち、2. 歴史の特質と資料</p> <p>2章 近代化と私たち</p> <p>【レポート②】</p> <p>1. 近代化への問い、2. 結び付く世界と日本の開国、3. 国民国家と明治維新、4. 近代化と現代的な諸課題</p> <p>3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>【レポート③】</p> <p>1. 国際秩序の変化や大衆化への問い、2. 第一次世界大戦と大衆社会、3. 経済危機と第二次世界大戦、4. 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題</p>		<p>【後期】</p> <p>○教科書はP142～197までを学習。</p> <p>○学習の中心とレポートの範囲は以下の通り。</p> <p>4章 グローバル化と私たち</p> <p>【レポート④】</p> <p>1. グローバル化への問い、2. 冷戦と世界経済</p> <p>【レポート⑤】</p> <p>3. 世界秩序の変容と日本</p> <p>【レポート⑥】</p> <p>4. 現代的な諸課題の形成と展望</p>		
学 習 方 法				
<p>・授業で提示される課題に取り組む。 ・教科書を丁寧に読み、レポートをまとめる。</p> <p>・プリントやレポートで学習を振り返る。</p>				
評 価 基 準 と 評 価 方 法				
レポートの提出と評価、考査の成績、授業態度を総合的に判断して評価する。				
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度		
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。		
担 当 者 よ り 一 言				
先行き不透明な社会を生き抜く力を身に付けます。自分自身と結びつけながら学んでください。				

キャリアコース

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
必履修	2	6		4
教科書		副教材等		
公共(実教出版)				
学 習 目 標				
<p>○現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>○現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>○よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>				
学 習 内 容				
<p>【前期】 ○教科書は、P6～99までを学習。 ○学習の中心とレポートの範囲は以下の通り。 1部 公共の扉 【レポート①】 1. 社会を作る私たち、2. 人間としてよく生きる、3. 他者と共に生きる、4. 民主社会の倫理 【レポート②】 5. 民主国家における基本原理 2部 よりよい社会の形成に参加する私たち 【レポート③】 政治 1. 日本国憲法の基本的性格、2. 日本の政治機構と政治参加</p>		<p>【後期】 ○教科書はP100～209までを学習。 ○学習の中心とレポートの範囲は以下の通り。 2部 よりよい社会の形成に参加する私たち(続き) 【レポート④】 経済 1. 現代の経済社会、2. 日本経済の特質と国民生活 【レポート⑤】 国際 1. 国際政治の動向と課題、2. 国際経済の動向と課題 3部 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 【レポート⑥】</p>		
学 習 方 法				
<ul style="list-style-type: none"> ・授業で提示される課題に取り組む。 ・教科書を丁寧に読み、レポートをまとめる。 ・プリントやレポートで学習を振り返る。 				
評 価 基 準 と 評 価 方 法				
レポートの提出と評価、考査の成績、授業態度を総合的に判断して評価する。				
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度		
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
担 当 者 よ り 一 言				
先行き不透明な社会を生き抜く力を身に付けます。自分自身と結びつけながら学んでください。				

令和5年度 教科シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ
単位数	4単位	レポート	12回
教科書	新数学Ⅱ (東京書籍)	副教材	ニューファースト新数学Ⅱ (東京書籍)

学習目標

方程式、図形と方程式、三角関数及び指数関数と対数関数について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

学習内容

前期 (4～9月)	後期 (10～2月)
1章 方程式・式と証明 (レポート①～③) 1節 式の計算 2節 2次方程式 3節 高次方程式 2章 図形と方程式 (レポート④～⑥) 1節 座標と直線の方程式 2節 円の方程式 3節 軌跡と領域 定期考查範囲 (1日登校型は期末のみ①～⑥) 前期中間 ①～③ 前期期末 ④～⑥	3章 三角関数 (レポート⑦～⑩) 1節 三角関数 2節 加法定理 4章 指数関数と対数関数 (レポート⑪～⑫) 1節 指数関数 2節 対数関数 定期考查範囲 (1日登校型は期末のみ⑦～⑫) 前期中間 ⑦～⑨ 前期期末 ⑩～⑫

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
履修しない。	授業1回につき教科書2ページ進む。基礎的な計算技能の習熟を図る。	授業1回につきレポート1回分進む。自学自習の支援となるよう個別対応する。

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
履修しない。	・出席、態度、副教材 ・レポート①～⑫ ・定期考查 (4回)	・出席、態度、副教材 ・レポート①～⑫ ・定期考查 (2回)

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
・数学の基本的な概念や原理を理解する。 ・事象を数学的に解釈したり表現したりする技能を身に付ける。	・数学を活用して事象を論理的、統合的に考察する。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔、的確に表現する。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用する。 ・問題解決の過程を振り返り考察を深め改善する。

令和5年度 教科シラバス

教科	理科	科目	地学基礎
単位数	(デ) 2単位 (キ) 3単位	レポート	9回
教科書	高等学校地学基礎 (第一学習社)	副教材	ネオパルノート地学基礎 (第一学習社)

学習目標

<p>日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、自ら課題を設定し、見通しをもって観察などを行うことができる、科学的に探究する資質・能力を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的に探究しようとする態度を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の地球の活動について観察などを通して探究し、地球の構造や、プレートの運動と地殻変動や地震・火山などの地球の活動との関連や地球の大気と海洋の働きを理解する。 ・地球の現在に至るまでの過程について観察などを通して探究し、太陽系に誕生した惑星としての地球の特徴や、現在までの地球規模の自然環境および生物の変遷を理解する。また、地球の環境と人間生活との関わりについて理解する。

学習内容

前期 (4～9月)	後期 (10～2月)
第1章 地球のすがた 第2章 地球の活動 (レポート①②③) (前期中間考査) 第3章 大気と海洋 第4章 宇宙と地球 第1節 (レポート④⑤) (前期期末考査) (前期考査)	第4章 宇宙と地球 第2節 第6章 地球の環境 (レポート⑥⑦⑧) (後期中間考査) 第5章 生物の変遷と地球環境 (レポート⑨) (後期期末考査) (後期考査)

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
副教材の学習のまとめを利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたり副教材2ページのペースで進める。	副教材の学習のまとめを利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたり副教材2ページのペースで進める。	副教材の学習のまとめを利用し、学習を進める。 1時間あたり、レポートの範囲を進める。

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 (出席率等も含む) ・発問評価 (小テスト) ・レポート評価 ・定期考査 (4回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 (出席率等も含む) ・発問評価 (小テスト) ・レポート評価 ・定期考査 (4回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 (出席率等も含む) ・レポート評価 ・定期考査 (2回)

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
観察などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現する。	地学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。

令和5年度 教科シラバス

教科	保健体育	科目	体育（2年次）
単位数	デ：2単位 キヤ：3単位	レポート	3回
教科書	現代高等保健体育(大修館書店)	副教材	ステップアップ高校スポーツ等

学習目標

<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<p>（第1回レポート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの発祥と発展 ・バレーボール・ダンス・体づくり運動 <p>（第2回レポート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動・スポーツの学び方 ・陸上競技・卓球・体づくり運動 	<p>（第3回レポート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かなスポーツライフの設計 ・バドミントン・体づくり運動

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・レポートは、教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 ・実技は、それぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートは、教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 ・実技は、それぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートは、教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 ・実技は、それぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・実技テスト ・レポート評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・実技テスト ・レポート評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・実技テスト ・レポート評価

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
<p>運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解するとともに、目的に応じた技能を身に付けている。</p>	<p>自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。</p>	<p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。</p>

令和5年度 教科シラバス

教科	美術	科目	美術Ⅱ
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	美術2(光村図書)	副教材	プリントを配布

学習目標

- ・美術の技法や知識をより深く学び、将来の生活や仕事にどう役立てていくかを考える。
- ・表現とは何かを理解し、自分にしかない個性や魅力の発見に繋げる。
- ・過去の芸術家たちの活動や思想に触れることで、美術の歴史や動きへの理解を深め、「現代に於いて活動している芸術家」や「生活に根付いたデザイン」に対する知見の幅を広げる。
- ・自身の持つ固定概念にとらわれず、より柔軟な価値観を身につける。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<p>◎第Ⅰ章 空間把握能力と彩色表現 立体造形(石粉粘土)を行い、陰影を意識した彩色を施すことで、「平面絵画と立体造形の考えがもたらす相乗効果」を体感し、見出す。 (レポート①)</p> <p>◎第Ⅱ章 生活に根付いたデザイン 街を見渡せばデザインで溢れかえっている昨今、雑誌やポスターなどの身近なデザインを例に挙げ、タイポグラフィやロゴデザインなどに於ける「生活に根付いたデザインの重要性」を学ぶ。 (レポート②)</p>	<p>◎第Ⅲ章 美術作品鑑賞 鑑賞する意義を学び、市展や文化祭での展示風景を観ることで、「鑑賞眼と価値観」を豊かにする。 (レポート③)</p> <p>◎第Ⅳ章 美術史 美術の歴史がどの様にして築かれたかを知ること、 「今の時代に必要なもの」を各々の価値観で感じることを目標とする。 (レポート④⑤)</p> <p>◎第Ⅴ章 修了制作 「自分にしか表現できないもの」をテーマに、集大成となる作品を作成する。見附市展などの公募展出品を目標とする。 (レポート⑥)</p>

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
	教科書だけでは理解することのできない「実物の参考作品の良さ」や「教員のデモンストレーション」を生徒に見せることで、より深く学習させる。	教科書だけでは理解することのできない「実物の参考作品の良さ」や「教員のデモンストレーション」を生徒に見せることで、より深く学習させる。

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・作品評価①（完成度） ・作品評価②（創意工夫） ・レポート評価（6回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・作品評価①（完成度） ・作品評価②（創意工夫） ・レポート評価（6回）

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
自分らしさを表現するための知識。またそれらを実行するための技能を中心に、各々が必要とする内容をよく理解し、実行に移せたか。	他者の作品が持つ魅力や技法についてより多く理解しようとする姿勢、またそれらを自身の技術や価値観として取り入れ、幅を広げようとする探究心。	生活の中は美術・デザインで溢れていることを理解し、それらに敏感に反応する姿勢。美術館や書籍で知見の幅を広げようとする意欲的な態度。

令和5年度 教科シラバス

教科	芸術	科目	書道Ⅱ
単位数	2	レポート	6
教科書	光村図書	副教材	

学習目標

芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

書よさや美しさを感じ作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<p>(1)漢字の書</p> <ul style="list-style-type: none"> 個性豊かな漢字の書 篆書（泰山刻石・石鼓文・甲骨文） 隸書（乙瑛碑・曹全碑・石門頌） 草書（十七帖・自叙帖・離洛状・恩命帖・国申文帖） <p style="text-align: right;">（レポート①、②）</p> <p>・行書（集王聖教序・温泉銘・祭姪文稿） （北宋の三大家）</p> <p>・楷書（孟法師碑・始平公造像記・張猛龍碑）</p> <p>・近現代の書を味わおう（創作） （レポート③）</p> <p>(2)篆刻・刻字</p> <ul style="list-style-type: none"> 姓名印の制作 表札制作 	<p>(3)仮名の書</p> <ul style="list-style-type: none"> 高野切第一種・高野切の書風の比較 平仮名・変体仮名 多彩な表現を比較しよう （本阿弥切本古今和歌集、関戸本古今和歌集、香紙切、針切） 紙面構成の学習、用具用材による変化の比較 百人一首を書こう（創作） （レポート④） <p>(4)漢字仮名交じりの書</p> <ul style="list-style-type: none"> 風景を書で表現する 古典の書風を生かす イメージを書で表現する ポスターを作ろう（創作） （レポート⑤） <p>(5)書道史</p> <ul style="list-style-type: none"> 書の特徴と歴史 現代の日本の書 中国、日本の書の比較 （レポート⑥）

学習方法

キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<p>臨書なども含め、毎時間作品の提出を求めるので時間内に完成できるよう取り組みましょう。</p> <p>多彩な古典や古筆を扱いますのでどのような特徴があるのかよく観察し学習に臨みましょう。</p> <p>作品制作がありますので目的意識をもって授業に臨んでください。</p>	<p>授業時間数が限られていますが臨書なども含め、毎時間作品の提出を求めるので時間内に完成できるよう取り組みましょう。</p> <p>多彩な古典や古筆を扱いますのでどのような特徴があるのかよく観察し学習に臨みましょう。</p> <p>作品制作がありますので目的意識をもって授業に臨んでください。</p>

評価方法

キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> 授業態度（出席率等も含む）・毎時間の練習課題の添削 レポート評価 作品、課題等の提出 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度（出席率等も含む）・毎時間の練習課題の添削 レポート評価 作品、課題等の提出

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
<p>書の造形や多様性などについて幅広く理解するとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に着けるようにする。</p>	<p>書よさや美しさを感じ、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美の味わいを捉えたり、表現を工夫したりすることができるようにする。</p>	<p>主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたって書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養えるようにする。</p>

令和4年度 教科シラバス

教科	外国語	科目	English Communication I
単位数	4単位	レポート	12回
教科書	VISTA English Communication II(三省堂)	副教材	VISTA English Communication IIワークブック(三省堂)

学習目標

<ul style="list-style-type: none"> ・言語能力の本質としての思考力・判断力・表現力の養成を土台として、英語の基礎的知識や技能の習得、コミュニケーション能力の養成を図る。 ・言葉・文化・民族の多様性とその共存を基本とし、国際理解の精神の育成を図る ・生徒の段階に応じて自律的な学習のための支援を提供し、自ら学びに向かう力を養成する。

学習内容

前期(4～9月)	後期(10～2月)
<ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson1～Lesson2 不定詞応用・疑問詞 if・使役・知覚動詞 (レポート①②③)(前期中間考査) ・ Lesson3～5 形式主語 it・現在完了進行形・過去完了形 (レポート④～⑦)前期期末考査(週1前期考査) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson6～Lesson7 受け身応用・関係代名詞・分詞構文 (レポート⑧⑨⑩)(後期中間考査) ・ Lesson8 (レポート⑪⑫)(後期期末考査)(後期考査) Enjoy Reading

学習方法

キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・ 文法説明を聞き、ノートワークにまとめる。 ・ 習った表現を用い辞書や教材を参考にして、タブレットを使い、自己表現する。 ・ 教科書を読み、単語調べ、発音練習 ・ 本文内容理解を教師の支援のもと、進めていく。 レポート・各課のまとめとして、レポートを作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文法説明を聞き、ノートワークにまとめる。 ・ 本文内容理解を教師の支援のもと、進めていく。 ワークを使用しながら、1時間あたり、レポート1枚の範囲を進める。

評価方法

キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業態度・ワーク・ノート提出 ・ レポート評価 ・ 定期考査(4回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業態度(出席率等も含む) ・ レポート評価 ・ 定期考査(2回)

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きや特徴などの理解を深める。これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの活動において、基本的な語句や文を用いて、伝えるために必要な技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

令和5年度 教科シラバス

教科	学校設定科目	科目	ベーシック（2年生）
単位数	1単位	レポート	6回
教科書		副教材	基礎力養成ドリル （実務教育出版）

学習目標

- ・「考える力」を主軸に、勉強をする意義をよく理解する。
- ・学力の底上げになるトレーニングを行い、勉強へ向かう意欲を向上させる。
- ・国語、数学、英語をなぜ学習するのか。どのように勉強したら理解がしやすくなるのかを学ぶ。
- ・自分自身の脳の働きを知る事で、長所短所を見出す。
- ・物事を多角的かつ幅広く観ることが出来る様になる為、柔軟性を持たせた学習をする。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校高学年から中学校までの総復習に加え、スタディスキル（考える力）を身につけるトレーニングを行う。 ・基礎力養成ドリルは自宅学習とし、<u>レポート課題</u>として提出をすること（全6回）。 ・授業時にドリルの解説を行う。 <p>《基礎力養成ドリル／レポート課題範囲》</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 国語：授業時に範囲を提示 ② 数学：授業時に範囲を提示 ③ 英語：授業時に範囲を提示 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディスキルの向上を目指した学習を行う。 ・基礎力養成ドリルは自宅学習とし、<u>レポート課題</u>として提出をすること。 ・授業時にドリルの解説を行う。 ・11月、12月に「基礎学力テスト」を実施する。 <p>《基礎力養成ドリル／レポート課題範囲》</p> <ol style="list-style-type: none"> ④ 国語：授業時に範囲を提示 ⑤ 数学：授業時に範囲を提示 ⑥ 英語：授業時に範囲を提示

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
	小学校中頃から中学校までの総復習。ドリルはレポートとして提出するが、「調べ学習」として行い、インターネットや友人との情報共有をするなどして終わらせること。授業ごとにレポート範囲の解説を行う。年末にはドリル内容から出題される「基礎学力テスト」を実施する。	小学校中頃から中学校までの総復習。ドリルはレポートとして提出するが、「調べ学習」として行い、インターネットや友人との情報共有をするなどして終わらせること。授業ごとにレポート範囲の解説を行う。年末にはドリル内容から出題される「基礎学力テスト」を実施する。

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・追課題の提出（プリント） ・レポート評価（6回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・追課題の提出（プリント） ・レポート評価（6回）

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
スタディスキルと自分の得意分野を理解し、具体的な知識を深めることができたか。	学習分野が教科を超えて繋がっており、自身にとって必要なものであると理解できたか。	課題（配布プリントやレポート）に対して、どれだけ真摯に取り組んだか。